

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	馬込ここわ保育園
法人名	株式会社ディアローグ
法人所在地	東京都渋谷区渋谷3-8-22 渋谷第一生命ビルディング7階

## 2. 活動のテーマ

### <テーマ>

当園が開園以来継続して行っている教育活動の中の【英語】を活かしながら【ことば】についての探究活動を実践し、非認知能力の向上等の保育内容の充実を図ります。

### <テーマの設定理由>

当園は開園以来、外国人講師が週2日来園し、英語で子どもたちと接してきました。レッスンでは保育者も生徒として園児と一緒にレッスンを受け、園児に寄り添ってきました。このように当園では、英語が園児にとって身近な興味となっていることから英語のみならず、韓国語、マレー語などの多言語や普段話している日本語も含めて「ことば」をテーマとして設定しました。



## 2. 活動スケジュール

【問い合わせ】3歳児クラスでは、保育者がことばについて問い合わせました。「私たちが話していることばは、何ということばか知っている？」子どもたちは、「ステファニー先生は、英語しか話せないんだよ。日本語は話せないんだよ。」と、日本語と英語ということばがあることは知っているようです。

【流れ】英語講師の来園日には、英語の歌を歌ったり、英語絵本の読み聞かせなどを行い、保育者は子どもたちと一緒に参加します。また自由遊びの時間に保育者が日本語絵本の読み聞かせをする際、英語講師は子どもたちと一緒に参加します。このように、子どもも大人も一緒に英語と日本語ということばを共有します。

【探究活動の実践と記録】英語活動の際には保育者が記録し、日本語活動の際には保育者とともに英語講師も記録し、特に子どもが英語を発している際のことばや音の聞き分けを担当しました。

\* 読み聞かせ：英語絵本は外国人英語講師が読み聞かせ、日本語絵本は保育者が読み聞かせます。

\* 歌：英語の歌は外国人英語講師が歌を歌い、日本語の歌は保育者が歌います。

\* 手遊び歌：英語の手遊びは外国人英語講師が英語で行い、日本の手遊び歌は保育者が行います。

【振り返りや共有】毎月月末に英語講師と職員のブリーフィングをおこなっているので、そこで探究活動の共有を行い、次月の問い合わせを考え環境設定や探究活動のスケジュールを話し合います。保育者同士は職員会議で振り返りや共有を行います。

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

【環境設定】英語講師の来園日に探究活動を行うよう環境を設定しました。

### 【素材】

\* 同じ作者の日本語と英語の絵本：エリックカールの「はらぺこあおむし」と "The very hungry caterpillar"

\* 同じ手遊び歌の日本語バージョンと英語バージョン：「グーチョキパーでなにつくろう」と "Rock scissors paper finger play"

\* 同じメロディの日本語の歌と英語の歌：「きらきらぼし」と "twinkle twinkle little star"



#### 4-①. 探究活動の実践（日本語）

＜活動の内容＞2 「はらぺこあおむし」 日本語絵本の読み聞かせ

\* 3歳児クラス：クラス担任が日本語の「はらぺこあおむし」を読み聞かせました。

＜活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり＞

保育者が「何の果物が出てくるかな…」と子ども達に日本語で問いかけた際、「りんご」「なしが1つ」と子ども達が自分で答えていた。

指で数字をだしていた。絵本の朗読に合わせて歌っている子どももいた。最後の絵本のシーンでは手で蝶を作り「bataura(butterfly)」と言っていた子どもが数名いた。英語講師から「Good」や「bataura(butterfly)」の発音を聞き、みんなで繰り返し言う子が多くいた。



#### 4-①. 探究活動の実践（英語）

＜活動の内容＞2 "The very hungry caterpillar (はらぺこあおむし)" 英語絵本の読み聞かせ

\* 3歳児クラス：英語講師が英語で "The very hungry caterpillar (はらぺこあおむし)" を読み聞かせる。

＜活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり＞

果物の場面で「りんご」がでてくると、講師が「apple」と発音。子ども達も一緒に「apple」と発音をする子がいた。あおむしが食べた物の数を「one…」「two…」「three…」と発音すると講師と一緒に指をさしながら数えていた。また、近くにいき絵本に触れ「apple」と指さす子もいた。英語講師は「hungry」と発音しながらお腹を押さえるジェスチャーをすると、子ども達も一緒に「hungry」と発音しながらお腹を押さえるジェスチャーを英語講師と一緒に楽しく行う姿がみられた。「apple」はみんな覚えていて、発音も上手になってきている。



## 5-①. 振り返りと次回への問い合わせ

＜振り返りによって得た先生の気づき＞

【振り返り】みんなが好きな絵本なので集中して見ていた。保育者からの質問にも答えていた。ちょうどが「butterfly」であると知っているためちょうどを作り言葉では「butterfly」と言い講師から「GOOD! JOB」と言われ笑顔になっていた。

英語講師の表情とジェスチャーで読み取る子どもがいた。ジェスチャーを見て日本語（意味）がわかり英語で単語を発音している。このように、ジェスチャーはことばの習得の際には効果的なツールであることを感じた。

【次回への問い合わせ】絵本ではなく、素材を変えて例えば手遊び歌だったら子どもたちの反応はどうになるのだろうか？

## 4-②. 探究活動の実践（日本語）

＜活動の内容＞②「ぐーちょきぱーでなにつくろう」日本語で手遊び歌を歌う

\*3歳児クラス：保育者が日本語で手遊び歌を歌いました。

＜活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり＞

子ども達が好きな手遊びのひとつため自分たちで「グーチョキパー」で何をつくりたいか言う子が多かった。「ヘリコプター」や「ドラえもん」などは子どもたちが考えまた、ちょうどは上手にできていた。



#### 4 -②. 探究活動の実践（英語）

<活動の内容>②"Rock scissors paper finger play(グーちょきぱーでなにつくろう)"英語で手遊び歌を歌う

\* 3歳児クラス："Rock scissors paper finger play(グーちょきぱーでなにつくろう)"英語で手遊び歌を歌う

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

子ども達も慣れ親しんでいる手遊びのため、何になるのか楽しみにしている子が多くいた。

ちょうどでは「BUTTERFLY」と英語と日本語で発音したり、「ヘリコプター」

[herikoputa]と発音したりする子が多くいた。英語講師に続いて発音をしていた。

通常の英語時間から「Rock - Paper - Scissors」でジャンケンすることがあり、子ども達も親しみをもって参加している。



#### 5 -②. 振り返りと次回への問い合わせ

<振り返りによって得た先生の気づき>

【振り返り】グーチョキパーで何になるかに興味津々に何になるかを楽しみにしていた。日本語で答えたあとに英語講師に英語ではと聞く子どもが多く英語講師が教えてくれ発音すると講師のあとに続けて発音をしている。このように英語に興味のある子どもが多くいる。"Rock, Scissors, paper"は普段からジャンケンでも使う単語のため親しみがあったようだ。また自由遊びには英語講師も参加するシステムなので、日本語の手遊び歌の時も英語講師が一緒にいて日本語では？英語では？の質問にすぐに応答できるため、子どもたちがより英語に興味が持てるのではないか。

【次回への問い合わせ】馴染みのある英語歌"Twinkle twinkle little star"を歌うことで子どもたちはどのように反応するのだろうか？

#### 4-③. 探究活動の実践（英語）

＜活動の内容＞③"Twinkle twinkle little star(きらきらぼし)"英語で歌を歌う

\*3歳児クラス：英語講師が"Twinkle twinkle little star(きらきらぼし)"英語で歌を歌う

＜活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり＞

英語講師の歌と手振りに合わせ行い始めた。知っている曲のためリズムにのりながら身体を揺らし始めていた。知っている単語「Twinkle」「Little」「Star」はよく口ずさみ一緒にうたう場面があった。英語講師から、「GOOD JOB」と言われると、嬉しそうに親指をだしてポーズをとる子がいた。



#### 4-③. 探究活動の実践（日本語）

＜活動の内容＞③「きらきらぼし」日本語で歌を歌う

\*3歳児クラス：保育者が日本語で「きらきらぼし」を歌う。

＜活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり＞

保育者と一緒に楽しく歌う姿があった。子ども達から進んでジェスチャーをしながら歌もうたっていた。英語での「Twinkle Twinkle LittleStar」と英語講師より先に英語だとこうだよねと言い歌い始めていた。日本語と英語両方で歌うこと、またジェスチャーの違いもわかり、している子が多くいた。



### 5-③. 振り返りと次回への問い合わせ

＜振り返りによって得た先生の気づき＞

【振り返り】この曲はよく知り歌うため英語でも日本語でもリズムをつかみ楽しく行う姿があった。また、手で星を上手に作り子ども同士で互いに見せあっていた。日本語で歌い次に英語で歌い交互に行うことで、保育者を良く見てまた英語講師を見ながらジェスチャーを行い次に何をやりたいかをリクエストする子どももいた。

【次回への問い合わせ】英語講師も週2回ほとんど終日園にいるので、英語を話す保育者と、子どもは見ている可能性がある。別の外国人英語講師が来園して、違う英語を話すことで子どもたちはどのような反応をするのだろうか？